

大腿骨転子部骨折患者の診療録調査研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年1月15日～2020年3月31日

〔研究課題〕

大腿骨転子部骨折患者の後ろ向きコホート研究

〔研究目的〕

世界有数の高齢化社会となった本国においては、骨粗鬆症を基盤とした軽微な外力を原因とする大腿骨の付け根の骨折が増加しています。これらの骨折は入院や手術を必要とするだけでなく、場合によっては寝たきりの原因ともなり、個人的にも社会的にも負担の大きい疾患です。その中でも、大腿骨転子部骨折は手術による骨接合を行います。その術後に大腿骨頸部が短縮することが、日常生活機能や生活の質にどの程度影響を与えているのかはまだ明らかになっておりません。また、その他にも影響を与える因子があるのではないかと考えられます。

本研究は、手術を大腿骨転子部骨折患者の診療録を後方視的に調査し、予後に関係する要因が何なのかを明らかとすることを目的としています。

〔研究意義〕

機能予後を改善するための大腿骨転子部骨折の治療方法が明らかになる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2009年4月から2018年9月までに受傷した大腿骨転子部骨折の患者の診療録データから放射線学的な変化や機能予後などについて調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院外傷センター、札幌徳洲会病院整形外科外傷センター、東川口病院整形外科、三郷中央総合病院整形外科、津田沼中央総合病院整形外科、上尾中央総合病院整形外科、大野中央病院整形外科、愛誠病院整形外科、小山整形外科内科整形外科、康正会病院整形外科、大宮中央総合病院整形外科、嶋崎病院整形外科、深谷中央病院整形外科、横浜労災病院整形外科、東京慈恵会医科大学附属柏病院整形外科、岡山ろうさい病院整形外科、名古屋第二赤十字病院整形外科、南東北病院外傷センター、札幌東徳洲会病院整形外科外傷センター、湘南鎌倉総合病院外傷センター

〔個人情報の取り扱い〕

研究結果は学術集会や医学論文として発表する予定ですが、個人が識別できる方法では公表せずプライバシーの保護に十分配慮いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：

渡部欣忍 帝京大学整形外科学講座 教授

研究分担者：

高橋周矢 帝京大学医学部救急医学講座 助手

乾貴博 帝京大学医学部整形外科学講座 大学院生

坂なつみ 帝京大学医学部整形外科学講座 大学院生

佐々木源 帝京大学医学部整形外科学講座 大学院生

中山雄平 帝京大学医学部救急医学講座 助手

松井健太郎 帝京大学医学部整形外科学講座 助教

宮本英明 帝京大学医学部整形外科学講座 助教

石井桂輔 帝京大学医学部救急医学講座 講師

黒住健人 帝京大学医学部救急医学講座 病院准教授

鈴木卓 帝京大学医学部救急医学講座 准教授

河野博隆 帝京大学医学部整形外科学講座 主任教授

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部整形外科学講座 TEL:03-3964-4097(代表)